

* ホシノタニ団地

HOSHI NO TANI DANCHI

人と人、人と街がつながる 街にひらかれた賃貸住宅
 ”こどもたちの駅前ひろば” ～築50年 団地形社宅の再生～

駅前にひろがるホシノタニ団地は
 人と人をつなぐ団地、人と街を繋ぐ団地。
 星がつながり星座になるように、
 人がつながる街となります。



東京郊外 座間駅前 築50年 団地型社宅の再生を まちの価値向上につなげる

小田急線 座間駅は、都心から1時間弱の急行通過駅。駅前には4棟の団地建物(小田急電鉄社宅)が建っていましたが、老朽化のため使用しておらず、敷地は仮囲いに覆われていました。当初は再開発が計画されていたものの、沿線有数の低額賃料駅であることと建設価格の高騰が理由で、既存建物の活用を図ることにしました。本団地は駅前にもかかわらず、ゆとりある空地を持ちます。自動車が乗り入れることの無いこの環境を「子どもたちの駅前広場」と捉え、団地内住人だけでなく地域の人々に開き交流の場所となることを目指しました。

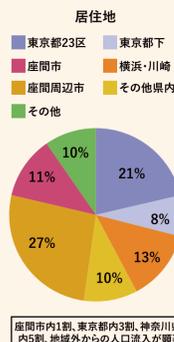


街のリ・ブランディング この街だけの「物語」を紡ぐ

緑豊かな里山が背後に広がる座間駅。鎌倉時代よりこの地に鎮座する「星谷寺(しょうこくじ)」というお寺には、昼でも星を映す井戸があった、という言い伝えが残っています。この地は、それほど星が美しい集落だったのでしょ。里山の風景、美しい星空。そんな座間の原風景・土地のもつストーリーを感じながら、まちに愛着を持って暮らしてほしい。そんな願いを込めて「ホシノタニ団地」と命名しました。

「物語」への共感が 街の賑わいを生む

ホシノタニ団地の「物語」は共感者を次々と生みました。結果、一般賃貸住宅全55戸は、竣工後約4ヶ月で入居率が9割を超え、今に至るまで満室稼働を続けています。入居者の約8割がこの住環境に魅力を見出した東京・横浜をはじめとした座間市以外からの移住者です。



● 企画時の構想イメージ



● BEFORE (改修前写真)



● AFTER (改修後室内写真)

